

令和2年度 認定こども園・保育園の利用申込みが始まります

令和2年4月からの認定こども園、保育園の利用申し込み及び支給認定申請を受け付けます。

【村内保育施設】

認定こども園	おおひら万葉こども園(社会福祉法人 三矢会)
所在地・電話	ときわ台15番地 ☎344-3028
定員	210名(教育認定60名)・(保育認定150名)
対象	生後6カ月～就学前児童
開園時間	月～土曜日 午前7時15分～午後7時15分 (保育時間は認定区分で異なりますので、利用案内をご覧ください。)



保育園	ききょう平保育園(株式会社オガワ企画)
所在地・電話	桔梗平1番地 ☎797-8370
定員	40名
対象	生後6カ月～就学前児童
開園時間	月～土曜日 午前7時15分～午後7時15分 (保育時間は認定区分で異なりますので、利用案内をご覧ください。)

地域型保育 《小規模保育事業A型》	万葉にこにこ保育園(社会福祉法人 三矢会)
所在地・電話	大衡字平林62番地 ☎080-1810-3396
定員	12名
対象	生後6カ月～2歳児
開園時間	月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

企業内保育 《認可外保育施設》	ゆうゆう保育園 みやぎ(トヨタ自動車東日本株式会社)
所在地・電話	大和町松坂平5丁目1番1号 ☎080-9000-5552
定員	40名(うち地域枠4名)
対象	生後6カ月～就学前児童
開園時間	月～金曜日・祝日 午前7時～午後8時

◆利用案内配布場所

おおひら万葉こども園、ききょう平保育園、万葉にこにこ保育園、健康福祉課
※おおひら万葉こども園は、10月1日(火)午前9時30分から配布します。

◆申込期間 10月1日(火)～10月31日(木)

※令和元年度に在園している0歳から4歳児、入園保留中の方も申し込みが必要です。
※令和2年度中に育児休業明け等で入園希望の方も、この期間に申し込みください。

◆問い合わせ先 健康福祉課 ☎345-0253



中学生がパラスポーツ体験 人材育成基金の活用

生徒自身の夢や目標の実現につなげ、自分の可能性を広げることを目的に、中学校3年生が修学旅行時に「東京オリンピックピック・パラリンピック2020」のメイン会場となる東京で、競技会場の見学や、パラスポーツ体験会、パラスポーツアスリートとの交流会を行いました。この事業は、創造豊かな情熱あふれる人材の養成を図ることを目的とする、村の人材育成基金を活用したものです。パラスポーツを体験した生徒の感想を紹介します。

「車イスバスケットを体験して」

芳賀 美月さん

パラリンピックという障害をもった方たちのオリンピックは、誰もが知っている大きな大会です。自分は、修学旅行で車イスバスケットの体験をさせてもらえると思ったとき、ふとパラリンピックの存在が頭の中に浮かびました。パラリンピック、パラスポーツといった言葉は聞いたことがありましたが、実際はどういったスポーツがあるのかは、あまり関心がなく、分かりませんでした。車イスバスケット体験をきっかけに興味をもつことができました。

何をするのも、すべて苦労しているようで、本当に生活するのも大変なんだろうなというイメージがありました。でも篠田選手の話聞いてみて、自分の想像はただのイメージであって、篠田選手のおかげで障害をもってしまっても、ふつうの人と何も変わらないんだなということを実感しました。

篠田選手のお話が終わったあと、いよいよ車イスバスケットの体験をさせていただきました。自分は競技用の車イスに乗るのははじめてでしたが、乗ってみると結構むずかしくて、後ろ向きで真っすぐ進むとしても、進めませんでした。この体験では、おにごっこや実際に試合をしたりもしました。おにごっこは篠田選手以外全員鬼でしたが、誰も時間内に捕まえることができず、おどろきました。試合は5対5でした。車イスに乗ったままボールを運んだりす

「車イスバスケットボールを体験して」

川村 愛羽羅さん

車イスバスケット体験を通して、篠田選手のことだけでなく知ることで、またやりたいなと思いました。

私は、車イスバスケットを体験して、体が不自由で大変な部分やパラスポーツならではの楽しさを感じることができました。

初めに、篠田選手による講話がありました。篠田選手は「レンドリーな方で、「レのちゃん」と呼んでおっしゃっていました。講話では、実際の痛ましい話や車イスの特徴、車イスバスケのルール、私達受験生へのアドバイスなどたくさん話してくださいました。篠田選手は子供の頃からスポーツ少年だったそうで、車イスバスケは友人から薦められ、始めたそうです。交通事故後、10日間意識不明の状態、片足は事故直後に道路に飛んでいったそうです。自分の足がなくなった光景を目にしたのに、ここまで立ち直れる

のが、すごいなと思いました。次に、車イスをこぐ練習をしました。車イスの乗り方や前進、ターンなどたくさん学びました。一番難しかったのは、後進とターンです。

後進は、なかなか真つすぐ進めず、友達とたくさんぶつかりました。ターンは、右手と左手の動きが違うので難しかったです。

その後、シュート練習をしました。ゴールの高さは中学校のゴールと同じなので、車イスに乗っているとより高く見えました。3球中1球シュートすることができました。

最後に、クラス対抗で試合をしました。私のクラスの2組は、初めは、10点ぐらい差をつけられていました。

しかし、応援と皆のおかげで同点に追いつくことができました。最後はとも盛り上がり、楽しかったです。

初めて、パラスポーツの車イスバスケに触れ、楽しさはもちろんありましたが、講話から過去の出来事の話ができました。とても貴重な体験ができ、良い思い出になりました。

